

ニュースクリップ & 映像教材

■2019日本ICT教育アワード

自治体のICT教育への優れた取組を顕彰することで、先端的・特徴的な取組を共有、発信し、新たな施策の情報提供を目指して、全国ICT教育首長協議会主催、文部科学省、総務省、経済産業省後援による標記アワードが、平成31年1月17日開催の全国ICT教育首長サミット席上において決定される。詳細は、27頁、「全国ICT教育首長サミット開催について」を参照のこと。



文部科学省情報

■「新時代の学びを支える先端技術のフル活用に向けて～柴山・学びの革新プラン～」公表

文部科学省では、平成30年11月22日（木）、進展する先端技術を学校教育にも積極的に取り入れることにより、教育の質を一層高めていくため、標記プランをとりまとめ、公表した。

本プランでは、

1. 遠隔教育の推進による先進的な教育の実現
2. 先端技術の導入による教師の授業支援
3. 先端技術の活用のための環境整備

の3点を政策の柱とし、先端技術の活用によりすべての児童生徒に対して質の高い教育を実現することを目指す。3. 先端技術の活用のための環境整備においては、「教育ICT化に向けた環境整備5か年計画」を踏まえた学校のICT環境整備促進も掲げられている。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/other/1411332.htm

<問い合わせ先> 初等中等教育局初等中等教育企画課 TEL 03-5253-4111（代表）

AV情報

■MPTE第43回勉強会「デジタルコンテンツのアーカイブを支える最新技術動向」

（一社）日本映画テレビ技術協会では、標記勉強会を開催する。

<日時>平成31年1月25日（金）14:00～18:00
<会場>松竹株式会社10階大会議室（東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F）

<内容>協会加盟各社によるデジタルコンテンツのアーカイブ戦略についての勉強会。「テープストレージの最新技術動向」、「LTOを活用した最新アーカイブ機器とソリューション」、「次世代光ディスクによる新たな映像アーカイブシステム」等。定員80名、参加費 非会員2,000円。

<問い合わせ先>（一社）日本映画テレビ技術協会 TEL 03-5255-6201

研究会情報

■教育シンポジウムin東京2019（第23回）

（公財）中央教育研究所では、「新時代を拓く授

全国ICT教育首長協議会情報

全国ICT教育首長サミット開催について

全国ICT教育首長協議会主催、文部科学省、総務省、経済産業省後援による標記サミットが開催される。詳細は、下記の通り。

〈日時〉平成31年1月17日(木) 12:30~17:30
 〈会場〉東京国際交流館プラザ平成(東京都江東区青海2-2-1)

〈内容〉

- 「2019日本ICT教育アワード」審査概評・結果発表、一次審査通過の数自治体によるプレゼンテーション発表、参加首長による投票。
- ICT活用体験会「Society5.0時代にむけて子供たちの生きる力を伸ばす授業とは?」
 新学習指導要領に基づいた授業を行うにあたり、なぜ整備されたICT環境が必要なのか。そ

の活用の元となる考え方や方針・方法のポイントについて紹介し、最新ICT機器に実際に触れ、新しい授業の一例を実際に体験できる環境とコースを用意。

- ICT環境等の協賛企業ブース展示
- 過去の日本ICT教育アワード受賞自治体による発表
- 「2019日本ICT教育アワード」表彰式
 文部科学大臣賞、総務大臣賞、日本ICT教育アワード他。
 参加申込み、詳細については、<https://ictmayors.jp/>を参照のこと。
 〈問い合わせ先〉
 全国ICT教育首長協議会事務局(一財)日本視聴覚教育協会内 MAIL info@ictmayors.jp

業改革ー『見方・考え方』をどう生かすか?』をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成31年2月9日(土) 9:45~16:35
 〈会場〉東京都北区立王子桜中学校・王子小学校(東京都北区王子2-7-1)

〈内容〉基調講演「“Competencies and curricula toward 2030”ー2030年を見据えた教育の在り方ー」白井俊氏(文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長)、講演「学びの『質』を高めるためにー主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革ー」白水始氏(東京大学高大接続研究開発センター教授)、パネルディスカッション「より良い授業への視点を探る」、分科会等。参加費2,500円(資料代含)。

〈問い合わせ先〉(公財)中央教育研究所
 TEL 03-5390-7488

■教育の情報化推進フォーラム

(一社)日本教育情報化振興会では、「新学習指導要領全面実施に向けて」をテーマに標記フォーラムを開催する。

〈日時〉平成31年3月7日(木) 10:00~17:30、
 8日(金) 10:00~16:30

〈会場〉国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

〈内容〉基調講演「新学習指導要領で目指す学びとICT活用」市川伸一氏(東京大学大学院教授)、総括パネルディスカッション「プログラミング教育の課題と展望」、特別講演「諸外国の教育動向」岸本睦久氏(文部科学省総合教育政策局調査企画課外国調査官(併)国際教育統計専門官)他、セミナー/ワークショップ、ICT夢コンテスト表彰式/事例発表、最新教育ICT展示会等。要事前申込、下記を参照のこと。<http://www.japet.or.jp/event/forumedu/>

〈問い合わせ先〉(一社)日本教育情報化振興会内 TEL 03-5575-5365

コンクール情報

■「第60回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団、(一財)新技術振興渡辺記

特別授業 映画を通じた生徒と監督とのディスカッション

ハリウッド映画「RED/レッド」や「きみがぼくを見つけた日」などのヒット作で知られるロベルト・シュヴェンケ監督の最新作「ちいさな独裁者」の日本公開に先立ち、平成30年11月26日(月)、東京都立西高等学校(東京都杉並区宮前4-21-32)において、来日した監督と生徒が映画についてディスカッションする特別授業が行われた。

本作は、第二次世界大戦で敗戦間近のドイツの脱走兵がナチス将校の軍服を拾ったことから、その威光までもを手に入れ、次第にその権力で傲慢な振る舞いをエスカレートさせていくという驚愕の実話を描いている。

本作を観て、「独裁者とは? パワハラとは?」ということなのかを話し合う授業で、生徒と教諭、さらにシュヴェンケ監督を交えて実施された。参加生徒は、1~3年生までの有志からなり、事前に本作を鑑賞したおよそ50名。

授業は、篠田教諭の紹介でシュヴェンケ監督が

教室に登場すると、生徒たちは拍手で迎えた。

シュヴェンケ監督は「今日は、ありがとうございます。ディスカッションを楽しみにしていました」と一言挨拶し、さっそく、挙手した生徒たちから質問が投げかけられた。

「この主人公はとても利己的な人間だと思いました。その利己的な人を描いて、何を伝えたかったのですか?」、「母国ドイツで自国のダークな部分を描いたのは、どういった思いから?」、「混乱の時代にカリスマ性を持った人が力を持つ、ということは今後も起こると思いますか?」等々、生徒の質問を受けた監督から、今度は生徒へ「現代に生きるみなさんから見て、この映画をどう思いましたか?」と質問が投げかけられた。生徒の感想を聞いた監督は「権威というものには、これで大丈夫なのか?と問いかけることが重要なんです」と。こうして、生徒と監督が映画を通じ、現代の問題を考えた熱気あふれる授業となった。



「ちいさな独裁者
THE CAPTAIN」
2019年2月8日より全
国順次ロードショー。
<問い合わせ先>
ポイント・セット
TEL 03-6264-3261

念会の主催による標記映像祭では、作品を募集している。

<部門> 1 自然・くらし部門、2 研究・技術開発部門、3 教育・教養部門

<参加資格> 日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究・教育機関および個人が製作した作品。上映時間は原則として90分以内。詳細は、下記を参照のこと。<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

<賞> 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、部門優秀賞他を予定。

<締切> 平成31年1月25日(金) 必着。

<問い合わせ先> (公社)映像文化製作者連盟「科学技術映像祭」係 TEL 03-3662-0236

■平成31年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集

情報通信における安心安全推進協議会では、情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的に標語を募集している。

<募集内容> 情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティの意識を啓発する標語。

＜応募資格＞○個人部門どなたでも応募可。○学校部門 児童生徒が作った作品の中から学校代表者が代表作品1点を選んで「学校名」で応募。なお、募集により選定された標語は、平成31年度情報通信月間における広報・啓発ポスターをはじめ、全国各地で実施される各種啓発事業・行事等において幅広く活用される。応募方法は、<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>を参照のこと。

＜締切＞平成31年2月28日（木）必着。

＜問い合わせ先＞情報通信における安心安全推進協議会事務局（一財）マルチメディア振興センター内 TEL 03-5403-1090

各地の情報

■映画のまち調布シネマフェスティバル2019

（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団では、つくる、楽しむ、学ぶの3つをコンセプトに本イベントを通して、映画と人、人と人、人とまちが繋がることを目的に標記フェスティバルを開催する。

＜日程＞平成31年2月16日（土）～3月10日（日）

＜会場＞文化会館たづくり（東京都調布市小島町2-33-1）、調布市グリーンホール（同2-47-1）他

＜内容＞第1回映画のまち調布賞市民投票結果・概要、上映会×トークショー、映画関連展示、映画・映像関連のワークショップや講座、短編映画上映会等、各種イベントを開催。

＜問い合わせ先＞（公財）調布市文化振興財団コミュニケーション課コミュニティ振興係

TEL 042-441-6171

■京都府綾部市立綾部小学校 算数科・プログラミング研究発表会

京都府綾部市立綾部小学校では、「21世紀型能力による学力向上システムの構築—すべての学校で活用できるプログラミング教育の開発」をテーマに標記発表会を開催する。

＜日時＞平成31年1月29日（火）10：50～16：45

＜会場＞京都府綾部市立綾部小学校（京都府綾部市上野町上野168）

＜内容＞公開授業（5・6年はプログラミング体験を通して学ぶ授業）、全体会、研究協議、ディスカッション等。

＜問い合わせ先＞京都府綾部市立綾部小学校

TEL 0773-42-0290

■第11回ICT活用授業研究会

和歌山大学教育学部附属小学校では、「子どもの思考力を育てるプログラミング教育とICT」をテーマに標記研究会を開催する。

＜日時＞平成31年2月1日（金）13：25～16：30

＜会場＞和歌山大学教育学部附属小学校（和歌山県和歌山市吹上1-4-1）

＜内容＞公開授業（プログラミング教育、情報モラル+ICT活用）、全体会・対談、企業展示等。要事前申込。

＜問い合わせ先＞和歌山大学教育学部附属小学校 TEL 073-422-6105

文部科学省選定作品

■11月選定 紙紙しばい [D]DVD [B]Blu-ray

「たきびだ たきびだ ほっかぼか」紙8枚＜幼稚園／幼児、教養＞（株）童心社

「ぶーぶーぶー」紙8枚＜幼児、教養＞（株）童心社

「とうじかぼちゃで ふゆもげんき！」紙12枚＜少年、教養＞（株）童心社

「いじめ 心の声に気づく力」[D]19分＜小学校中学年・高学年、道徳／少年、地域社会生活（人権）＞東映（株）

「いじめ 一歩ふみ出す勇氣」[D]19分＜中学校、道徳／少年、地域社会生活（人権）＞東映（株）

「みんなの情報モラルⅣ スマホにかくれた闇」[D]18分＜中学校、特別活動／高等学校、特別活動／青年、家庭や地域等における教育（青年期）＞（株）コムパレット

「ヒューマン・フロー 大地漂流」[B]140分＜成人、教養＞（株）キノフィルムズ宣伝部宣伝第1グループ課映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

短信

■おわび

本誌昨年12月号「視て聴いて わたしの提言」の執筆者（3頁）に、かけい かつひこ氏とありますが、正しくは、かけひ かつひこ氏です。訂正しておわび申し上げます。